

令和 6 年度第 1 回三鷹市商工振興対策審議会 会議録

- 開催日：令和 6 年 7 月 31 日（水）午後 6 時 30 分から午後 8 時 20 分まで
- 会場：三鷹市教育センター 3 階 大研修室
- 出席委員：平野委員、望月委員、上原委員、額田委員、姜委員、渡邊委員、森本委員、羽田野委員、矢田部委員、酒井委員、吉田（純）委員、蒲谷委員、北委員、関口委員、吉田（真）委員、大倉委員、太田委員、岩見委員、中泉委員、大城委員
- 傍聴者：なし

1 開会

【委嘱状の交付】

- ・第 22 期三鷹市商工振興対策審議会の発足
- ・任期は令和 6 年 7 月 31 日～令和 8 年 7 月 30 日
- ・委員 20 名のうち、11 名が再任、9 名が新任
- ・席上配付にて各委員に委嘱状を交付

【委員より挨拶】

- ・各委員から自己紹介

【出席状況の確認】

- ・開会時点で委員定数 20 名中 19 名の出席をもって、過半数を超えているため、三鷹市商工振興対策審議会条例第 6 条第 2 項に基づき会議は成立。

【会議の公開及び傍聴人の決定について】

- ・三鷹市市民会議、審議会等の会議の公開に関する条例第 6 条に基づき、会議開催の事前公表を令和 6 年 7 月 22 日よりホームページにて実施し、7 月 29 日午後 5 時まで傍聴希望者を募集した。
- ・傍聴希望者なし。

【正副会長の選出】

- ・三鷹市商工振興対策審議会条例第 5 条に基づき、会長及び副会長を互選で選出
- 会長：額田委員
- 副会長：酒井委員

【市長挨拶】

- ・河村孝三鷹市長より挨拶

【会議録について】

- ・三鷹市市民会議、審議会等の会議の公開に関する条例第9条、第10条に基づき会議録を作成し、決裁後閲覧に供する。

2 議事

【報告事項（1）ア 第5次三鷹市基本計画について、イ 三鷹市産業振興計画2022（第2次改定）の取組状況について】

<意見交換>

[委員]

- ・資料2-1 SOHO支援の充実について、令和元年度から令和5年度までに77人が創業したと記載があるが、どのような業種か？

[事務局]

- ・卸売や小売業などが約25%、リラクゼーションサロンなどの生活関連サービス・娯楽業が約20%、経営コンサルタントなどの学術研究・専門・技術サービス業が約10%、複数のサービス業を営むその他サービス業が約10%となっている。

[委員]

- ・製造業に関する創業が少ないという実感。
- ・ファブスペースみたかを利用した方の製造業の創業についてはどうか？

[事務局]

- ・ファブスペースみたかは平成26年からものづくり工房として開始した。利用した方のうち2020年からの3年間で7名が創業した実績がある。
- ・近年機器の老朽化が顕在化したことや、運営事業者による民間自立型の施設運営には至らなかったことから、令和6年3月末をもって施設を閉鎖した。

[委員]

- ・ファブスペースみたかを通じて創業者を輩出したことは素晴らしいことだが、残念ながら閉鎖に至ったことについて委員の皆様のご意見を伺いたい。

[委員]

- ・機械の老朽化について再投資するほどの政策的効果がないと判断されたことではないか。

〔委員〕

・資料 2-1 に掲載がある数値目標の、製造事業所数や製造品出荷額が大幅に減っている。原因は何か？事業承継の問題もあったのか？

〔事務局〕

・計画期間 12 年間の間に生じた、比較的規模の大きい製造事業者の市外転出が大きな要因であったと考える。後継者不在による廃業など、事業承継の問題も顕在化していると考えている。

〔委員〕

・様々な審議会に出席しているが、その中の市民緑化推進委員会で行ったシンポジウムにおいて感じたことは、三鷹の森を再生していくためには産業も大切だという事である。各審議会の意見が共有され、活かされているのか。三鷹がもっと経済的に発展するために、様々な審議会の情報交換を行うべきだと感じる。

〔委員〕

・縦割りの組織を解決することがまさにこの審議会の役割であり、市民と産業の間をつなぐため、一緒に取り組んでいきたい。

〔委員〕

・金融機関の視点から話をすると、三鷹市は関係 5 団体で創業支援を行っており、他の地域に比べても創業支援に力を入れているという印象がある。コワーキングスペース「ミタカフェ」には自社の担当が定期的に参加しており、昨年は 17 事業者の創業支援をお手伝いした実績がある。多摩地域全体の新規顧客のうち、約 4.7% が三鷹市の事業者。創業から 3 年以内の方が利用できる創業関連融資については多摩地域全体のうち 5 % 強が三鷹市を占めており、創業が活発な地域と言える。地域の活性化のために支援をしていきたいと考えている。

〔委員〕

・都市型産業の新しい分野として、規模が小さくても付加価値が高い事業が生まれているのかもしれない。次回の産業振興計画では、都市型産業の付加価値を測ることができるような指標を設定することを検討してもよいのではないか。

〔委員〕

・資料 2-1 計画の数値目標について、SOHO 集積施設数及び入居者数が減少している件について、コロナ禍の影響で小売サービス業などが厳しかったことは理解できるが、IT 関連事業者の需要はあったと思う。IT 関連の事業者がなぜ SOHO 施設を利用しないのか？

〔委員〕

・最近の IT 事業者は施設などに依存せず自宅で事業をやっているケースが増えている。自宅でネットワークを使用して活発に事業を行っていると思うが実態が見えない。ミタカフェなどは、交流する場所を求められているのではないか。

〔委員〕

・施設の利用を促す場合は、付加価値が求められると感じている。地方都市でもデジタル田園都市構想などで企業を集積する動きがあるが、思うように集まらないと聞いている。IT 事業者、特にデザイン系やグラフィック系、建築系などについては、鮮度のいい情報を仕入れる必要があるため地方に移ることが難しい。三鷹では情報交換の場を提供できることが大事だと感じる。

〔委員〕

・経済の視点から述べると、コロナ禍のタイミングで日本経済が大きく落ち込んだが、その後急速に回復し、昨年度からコロナ禍以前を上回る経済状況になってきており、去年より今年の方が、資金需要が高まっている。都心の方では新規資金需要が大きいと同時にデフォルトも多い。三鷹近辺については都心に比べると緩やかに回復しているが、破産などの後ろ向きな相談が少ないという特徴がある。堅実な経営をされているという特徴が顕著に出ている。

・日銀の政策金利について、春先にマイナス金利が解除されてから、3、4か月で0.25%上がることとなった。中小企業には大きなインパクトがあるため注視する必要がある。

・不動産の市況について、昨年がピークで少しずつピークアウトしていると言われているが、中央線沿線付近はまだ上がっている。経済が回復することはいいことだが、創業者にとって家賃などの固定費はインパクトが大きく、さらに金利が上がることで創業者には厳しい状況であると考えられる。

・資料 2-1 経営基盤の強化に係るところで、資金繰り支援は引き続き非常に重要になると考える。

・最近は事業承継について相談を多くいただいている。相談の強化など力を入れる必要があると感じる。

【議題（１） ウ 三鷹市産業振興計画 2027（仮称）の取組状況について】

〔事務局〕 資料 2-2、2-3 を使用して説明

〔委員〕

・資料 2-2 4 基本的な目標について、三鷹市基本計画の基礎部分には「高環境と高福祉が調和した持続可能なまちづくり」が掲げられている。高環境とは、自然環境との共生だけで

なく、持続して働くことができる環境や事業者が行う SDG s の取組なども含むと考える。市民の皆様が「市民参加でまちづくり協議会（マチコエ）」で掲げた意見をもとに作られた総論を意識して、目標とする都市像を設定してほしい。

- ・事務局からは『産業と生活が共生する都市』というたたき台が出ているが、産業と生活の間には様々な矛盾がある。課題解決にあたって何を優先するかについては、市民が「マチコエ」で出した高環境、高福祉、つまり市民の生活を優先するという視点を大事にして、議論しながら進めていきたい。

〔委員〕

- ・資料 2-3 について、2027 案は 2022（第 2 次改定）より施策が集約されているが、具体的な内容はこれから追加するのか？支援の強化などの具体的な内容を詰める必要があると感じる。

〔事務局〕

- ・個別事業については、これから精査し載せていく方向性である。

〔委員〕

- ・「マチコエ」の流れも汲んでいると思うので、この案でよいと思う。
- ・『6 みたかブランドの創出・推進』について、商工会としては、今まで手ごたえを感じられなかった。委員の皆様からご意見をいただきたい。三鷹市の市のカラーなどをはっきり打ち出すことも戦略としてありうると考える。

〔委員〕

- ・むらさきは三鷹らしい色だと思う。
- ・三鷹市は文学や作家のイメージがあり、文化の薫りが高いまちだという点をアピールしてはどうか。

〔委員〕

- ・三鷹市は井の頭公園があり、都心へのアクセスがよく多摩との結節点であり、自然が豊かといった環境に恵まれており、こうした豊かな空間のイメージを打ち出していくことができるまちだと思う。

〔みたか都市観光協会〕

- ・国立天文台のある三鷹ということで宇宙をイメージした宙球（そらだま）ゼリィを開発した。三鷹市産のバタフライピーで青色の色付けをし、三鷹の農家や和菓子屋、デザイナーなどと一緒に、ストーリーを重視し地域資源を生かした製品づくりを行った。宙球（そらだま）ゼリィは品薄状態のため、製品の安定供給に課題を感じている。

〔委員〕

・宙球ゼリィは皮を破るときがとても楽しい。今後金額を市民が手に届きやすいように製品のバリエーションを増やしたり、生産体制についてサポートしたりするなどの取組が求められる。

〔事務局〕

・これまでも、文学なども含めてブランド化する取組を行ってきたが、大きなプロジェクトにすると時間がかかり動きが鈍くなるため、今回は小規模プロジェクトを複数作っていくことを意識して行った。

〔委員〕

・そのような取り組み方は、とてもよいと考える。身の丈の規模で様々なチャレンジをし、その後振り返りを行い、手を加え、より良いものにしていく、経済用語で言う「エフェクチュエーション」や「創発戦略」と言われる取組が求められている。

〔委員〕

・産業振興計画 2027 について、資料 2-3 の 2022 の施策名はイメージが付きにくい、2027 案についてはやりたいことが読み取れるため、改善していると感じた。

【（３）その他 関係団体からの報告】

<三鷹商工会>

- ・第 57 回三鷹阿波踊り大会について
- ・第 8 回まちゼミについて
- ・第 47 回みたか商工まつりについて

<まちづくり三鷹>

- ・精密測定機器利用に係る費用の一部助成について
- ・第 21 回みたかビジネスプランコンテストについて
- ・Poki 4 コマまんがコンテスト 2024 作品募集について
- ・第 29 回三鷹まちづくりフォトコンテストについて

<みたか都市観光協会>

- ・みたか散策マップについて
- ・三鷹の森ジブリ美術館の三鷹市・近隣市民枠チケットについて

【事務局より】

- ・ 次回開催は令和 6 年 11 月を予定している。
- ・ 開催時間の変更について、平日午後 4 時からの開催としたい。

3 閉会